

課題・作業内容

ワークショップ背景

平野は平安期に坂上田村麿の子広野麿が拓き、中世には町の行政を町民自身で行う「環濠自治都市」として栄えた、大阪の中でも古い歴史をもつ町である。その面影は環濠跡や環濠出入口付近の地藏堂、江戸時代から継承された町割、点在する道標・碑などに見ることができる。大都市にありながら戦火を免れ、多数の寺院・神社・町家などによる歴史的景観が残された貴重な町である。

その歴史的景観を生かした住環境の形成・修景整備を目的として、平成8年度には大阪市 HOPE 計画に基づく「HOPE ゾーン」に指定されている。町並み実態調査、協議会の設立、「まちなみガイドライン」の作成を経て、平成11年度のモデル事業以降これまでに20件を超える事業を行っている。このように、現在でも自治の精神にあふれ、住民の町づくり活動も盛んである。しかし、その一方で中心部は商業地域、容積率400%という条件であり、経済的合理性から高層マンションの建設なども進行しているという現実もある。一元的法規制、相続や土地に絡む税法上の問題、後継者問題などその背景は複雑であろうが、千年を超える時間と「町がすきだから」という住民の思い、その活動を無にするような行為は省みる必要があるだろう。それには、より実効力を持った町づくりの枠組みを作り上げる必要がある。

このワークショップでは、平野の景観資源を活かしたより実効力を持つ枠組みを検討し、今後の住民活動の活力となるような将来ビジョンの提案を目指す。

ワークショップ成果目標

- A : これまで平野地区で行われてきた町づくりを、景観法等を見据えながら、より実効力を持ったものにつなげていく、そのプロセス作り（全体構想）。
- B : 町歩き・ヒアリングを重ねながら、歴史的景観の保存・再生、平野らしさを引き出す新築・再開発、修景アイデアなど、住民が選択し共有できる将来ビジョンの提示（具体的将来像）。

チーム編成について

成果目標に応じ、チームを編成する。

- A 全体構想チーム : (1チーム) 地元住民代表・教員・上級生数名をコアとし、「B」の相談役になってもらいます。
- B 具体的提案チーム : (4～5チーム) それぞれ学生数名をコアとし、町かどの住民や「A」のメンバーと頻りにコミュニケーションをとってもらいます。

ワークショップ成果物（イメージ）

- O-1 : 平野景観資源マップ（全チームによる共同作業）
- A-1 : 景観法の活用プロセス（概念図）
- A-2 : 「A-1」に対応し、平野の町の資源を生かした全体ビジョン
- B-1 : 提案1（例）町家リノベーションプロジェクト～様々な町屋の活用法
- B-2 : 提案2
- ・
- B-n : 提案n etc

※提案は必要に応じ、スケッチ・模型・図面・写真コラージュ等で表現します。

作業フローチャート

A : 全体構想チーム

B : 具体的提案チーム

25	A-0 最終事前調整 (教員陣)	
26	0-0 自己紹介 (開会式、趣旨説明後) 0-1 町歩きポイント説明 0-2 ぶらっと町歩き 0-3 レクチャー01: 景観資源探しについて	
27	A-1 戦略会議 (夕食兼 3H) (デジカメデータ取込 等) 0-4 レクチャー02: 平野の歴史・文化など 0-5 レクチャー03: 大阪の住宅様式・住まい方 0-6 フリーディスカッション (問題点と可能性の共有) 0-7 グループ分け 仮シナリオの想定	B-1 「景観資源」と「平野らしからぬもの」探し (自由行動 夕食兼 3H デジカメ撮影 スケッチ) ※「守りたいもの (モノ・コト・場所)」 「変えたいもの (モノ・コト・場所)」を意識
28	A-2 戦略会議 (随時 町歩き) 0-8 翌日のイベントに向け作戦会議 0-9 景観資源マップ作成 (アナログ作業)	B-2 町歩き (仮シナリオ中心 3H) B-3 情報収集 (文献・行政資料等) ※0-9 と分担
29	A-3 戦略会議 (方針決定)	B-4 各チーム、シナリオに沿ったアイデアフラッシュをビジュアル化 (スケッチ等)
30	A-4 チャート図作成 A-5 景観資源マップのデジタル化	0-10 まちなかイベントに参加 (終日) ※途中、2時間程度の中間報告会のみ全員参加。 それ以外は、各チームから1~2名程度交代で参加 ※「景観資源マップ」「アイデアフラッシュ」「都市模型」を展示 ※住民との交流
31	A-6 全体構想ビジュアル化他、前日作業継続	B-5 シナリオディスカッション →シナリオ確定 B-6 設計スタディ等 (模型・スケッチ・図面) 開始。随時デジタルデータ化。また、町歩き、買出し、情報収集等も随時。 B-7 夜: お祭り打上げ
~	A-7 プレゼン準備	0-11 シナリオ最終確認・作業調整 B-8 30日プレゼンに向け、終日作業 ※データは基本的にデジタル化。
2	0-12 地元公開プレゼン (予定) 0-13 閉会式 解散	B-9 午前中: プレゼン準備 (清掃・オペレーションチェック等を並行する)
2	(以下、延長戦参加希望者のみ) 0-14 必要に応じ、ビジュアル表現タッチアップ 0-15 阪大にて A-1 打出、パネル化 0-16 近畿大学搬入・展示 (以上 31 日) 0-17 講評会 (2 日)	